

発行：はつらつ編集局
発行日：平成 25 年 12 月 1 日
発行人：吉田 秀明
編集人：はつらつ編集委員
お問い合わせ：0135-23-3126



年末年始の診療について

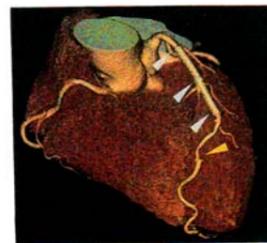
- 12月27日（金） 通常診療
- 12月28日（土） } 休診
（通常の診療はお休みです。）
- 1月3日（金） } 休診
（通常の診療はお休みです。）
- 1月4日（土） 午前診療
（午後の診療はお休みです。）
- 1月5日（日） 休診
（通常の診療はお休みです。）
- 1月6日（月） 通常診療

◇救急の場合は、当直医の判断で対応を検討いたします。

当院では、今年秋より最新型の CT および MRI 装置が更新稼動いたします。

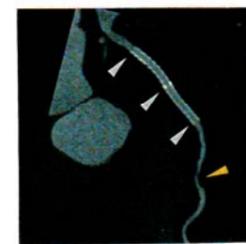
☆64列マルチスライス CT

- ・被ばくを大幅に低減（最大 60%）
- ・短時間わずかな息止めで全身検査
- ・コンピューター処理速度が格段に向上
- ・心臓（冠動脈）検査が可能

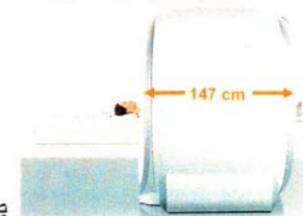


☆1.5 テスラ MRI

- ・「うるさい」・騒音の少ない静かな検査
- ・「圧迫感」・・・ガントリーから顔が出ます
（頭・頸部検査以外）



- ・「長い検査時間」・・・スキャン時間短縮で、
広範囲部位の検査が可能



※最新の CT・MRI を組み合わせることにより、さらに高度な画像診断が可能になります。

最新型の医療機器の導入

研修医リレーコラム59

「医師は診察中に何を考えているのだろうか？」

病院の周りが雪で囲まれ、私が赴任した 11 月上旬と比べると余市町の風景もすっかり様変わりしてしまいました。

多くの高齢者にとって冬は活動範囲が屋内に限られやすく、暖房の効果も相まって脱水傾向になります。脱水傾向になると様々な疾患を発症しやすくなります。このように、冬になると患者さんの絶対数が増加し、病院の外来での待ち時間も長くなりやすいです。患者さんが増えると外来主治医が診察に割ける時間も短くなり、患者さんも自分の伝えたいことを言えない、医師も十分にお話を聞けないという状況が生まれます。今回は短い外來診察の時間をお互いに、いかに効率よく過ごすかを視野に私の考えをお伝えします。

①診察前に用意すべきもの：健康保険証、お薬手帳、血圧・血糖手帳（記録している場合）

よくお薬手帳を自宅に忘れて外來受診される患者さんが居ます。

医師はお薬手帳を見ることで現在治療中の疾患の重症度を見極め、入院時に内服を継続する薬剤があるかを確認しています。ご自分の病気を上手に説明できない場合、お薬手帳があれば問診と診察を円滑に進める事が出来ます。ご自宅を出る前、必ずお薬手帳を持参するようにして下さいね！

②医師に事前に伝えたい内容を整理する

「ご自分でお困りの内容」、「治療方針の相談」、「今後の予定」など、外來中に医師に相談したい内容は多いと思います。診察室で考えながら医師に相談する事は、途中で忘れるなど困難な場合が多いと思います。予め上記の内容を箇条書きにし、その用紙を医師に手渡すだけでも診察が円滑に進みます。

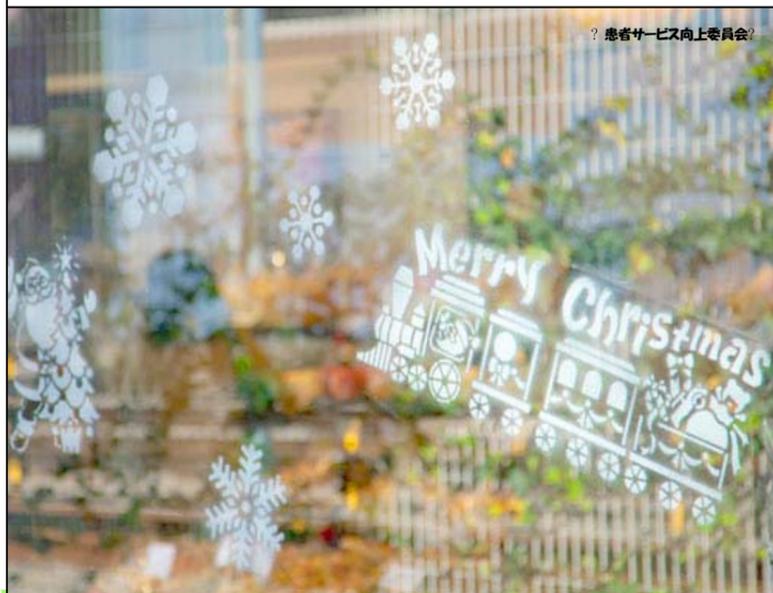
③診察時に医師が話を聞く順番

医師は 5W1H の順番でお話をお聞きします。

「いつ、どこで、誰が、どのように？」という順番で聴取します。次に医師が聞きたい内容が推測できれば、初対面の医師に説明する際も緊張せずにお話出来ると思います。既往歴についても上記の 5W1H 同様に具体的な情報が大事です。例えば、「急性虫垂炎で 20 年前に余市協会病院外科で手術しました」のような内容です。ご自分で上手く把握できない場合は、一度かかりつけの先生に詳細を確認しその内容を記載したメモを医師に手渡すだけでも大丈夫です。

雑多な内容ですが、上記の方法を用いると短い外來診療の時間が少しでも有意義になると思います。1 ヶ月と短い時間でしたが、とても有意義な臨床研修を過ごすことが出来ました。関係各位の皆様はこの場をお借りして、感謝申し上げます。ありがとうございました。

手稲溪仁会病院 研修医 津島 隆太



余市協会病院

クリスマス会のご案内

★日時★ 平成 25 年 12 月 13 日（金）

18:30~19:30

★場所★ 1階 ロビー

★内容★ ・幼稚園の子どもたちによる歌

・職員による歌やハンドベル演奏



(11月) 救急件数

外来受診338件 うち入院51件
救急車来院69件 うち入院30件